

1月



2024年

みやま

第308号

病院理念

『患者さまの不安をとること』

当院の基本方針

「地域に根ざした安心できる医療」

「精神科医療の充実」

「老人医療」医療と福祉の結合

医療法人社団光生会 平川病院

〔ホームページ〕 <http://www.hirakawa.or.jp/>



【左から】宮田副院長、堀江事務部長、酒井看護部長、村田診療協力部次長、平川院長、真島副看護部長、河合副院長

令和6年、明けましておめでとうございます

院長 平川 淳一

今年は元旦から能登半島地震が発生し、さらに2日には帰省で混雑していた羽田空港で旅客機と海保の飛行機が衝突炎上するという大事故が起き、なんという年明けなんだろうと思いました。被災にあわれた皆様には心からお見舞い申し上げます。私も墓参りに九州に行っていたので帰りの飛行機が欠航してしまい、一晚博多に宿泊し新幹線で戻ってきました。また、石川県には理事長の次男の朋龍さんがいます。彼は金沢医大の救命救急センターで救急専門医として活躍していますが、当初安否がわからず心配しました。しかし理事長からの連絡で、被災はしたようですが家族含めて無事であること、また緊急招集がかかり正月休みを返上して現場に向かっていることなどがわかりました。甥ながらあっぱれだと思いました。

さて、今年は診療報酬改定や精神保健福祉法の本格的施行などがあります。虐待防止や地域包括ケア、地域生活支援などを意識しながらしっかりやっていこうと思います。

令和6年が皆様にとって良い1年になりますように祈念します。

【表紙】院長あいさつ 【P2】令和6年標語 【P3】ネット・ゲーム症外来・専門プログラム、2年目に向けて！
【P4】発達障害「昨年を振り返って」 【P5】精神障害にも対応した地域包括ケアシステム
【P6】災害時の炊出し訓練を行いました

令和6年 標語

当院では毎年、全職員から「標語」を募り、最優秀賞に選ばれた標語は、その年の病院標語として採用されます。今年の受賞作を紹介します。

最優秀賞 受賞者 <敬称略>

最期まで 精一杯

内科病棟 看護師 田口 眞生

優秀賞 受賞者 4名 <敬称略>

尊厳を保持し、耳を傾け、寄り添う

副看護部長 真島 智

患者さんの未来を照らす光になる

南2病棟 看護師 井口 美咲

医療の質は思いやりから

南2病棟 看護師 木村 拓也

Hirakawa make it better

去年より昨日より、病院も私たちも患者さんも良くなる

栄養科 調理師 谷 翔太

ネット・ゲーム症外来・専門プログラム、2年目に向けて！

ネット・ゲーム症委員会 地域生活支援科ディケア 科長 井出 学

昨年のみやま1月号で、ネット・ゲーム症外来と専門プログラムが年内に開始することをお伝えしておりました。現在の活動状況をご報告させていただきます。

2023年4月：ネット・ゲーム症専門外来スタート

当院副院長である宮田久嗣医師が担当する専門外来（毎週月曜日の午後）が開設されました。予約のお電話をして下さるのは大半がご家族です。年齢層も小中学生、高校生、20代と若年化が目立ちます。初診の際には公認心理師のインテーク面接、宮田医師による診察を受けることができます。

同年5月：ネット・ゲーム症公開セミナー開催

「ネット・ゲーム症について考えてみましょう」と題して当事者、家族、医療・教育・福祉領域の職員を対象に公開セミナーを開催しました。宮田医師から「ネット・ゲーム症発生のメカニズム」「家族とのコミュニケーションのあり方」について概説がされました。このセミナーに参加された本人・家族が専門外来につながるケースもありました。

同年6月：家族相談会スタート

ネット・ゲーム症は若年層が多く、本人の問題意識が希薄である場合が多いためご家族への支援が重要になります。当院では毎月1回、ミーティング形式の家族相談会を実施しています。宮田医師はじめ心理・作業療法・ディケアスタッフからの話題提供（「治療と回復」「家族の対応」「合併症」「回復に役立つ社会資源」）と家族同士の近況報告・体験や解決策の共有が盛んに行われています。

同年8月：ネット・ゲーム症専門プログラムスタート

久里浜医療センターで作成されたCAP-G（ゲーム障害に対する包括的治療プログラム）を採用して、毎週木曜日に専門プログラムを実施しています。ネット・ゲームについて話し合える仲間ができた、自身のネット・ゲームとの付き合い方や課金の問題を客観的に眺められるようになった、ネット・ゲームへの衝動をコントロールしようという意欲が出てきた等の感想が聞かれています。

本年3月には子ども・教育領域の機関の職員を対象とした研修会開催を予定しています。ネット・ゲームの問題があったら「平川病院がある！」と思って頂けるよう頑張っていきます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。



ネット・ゲーム専門プログラム（CAP-Gの様子）

昨年をふりかえって

地域生活支援室より

発達障害診療医長 渡部 洋実

昨年の発達障害診療部門の振り返りと今年の抱負を記事にとのことで思い返しますと、6月にADHD（注意欠陥多動性障害）のためのデイケアプログラムが始まったことと、9月に「八王子市民のための発達障害支援総合ポータルサイト（下記）が公開になったことが大きな柱となった年でした。

ADHDは多動、不注意、衝動性の3症状を特徴とした発達障害のひとつですが、人口の5%ともいわれる発達障害で、最近その概念がマスメディアなどでも取り上げられるようになったこともあり受診者が増えており、当院でも発達障害と診断を受ける方の半数はADHDを有していました。症状を緩和する薬物療法が適応となりますが、薬物療法以外の選択肢はないのかというニーズに応える形で今年度から専門プログラムが開始となりました。プログラムを通じて、自己理解を深めたり、他の人の対応の工夫や対処法を聞き、学ぶ機会となることを目的としています。興味のある

る回のみへの参加も可能ですので、気軽に参加していただけたら幸いです。

もう一つの発達障害支援総合ポータルサイトについてはみやま10月号でも触れましたが、発達障害診療開始から、医療での限界や地域連携の必要性、支援体制の充実などを考え始め、ポータルサイトを作る構想に至ってから、2年ほど経て当院で実現できたこと、このプロジェクトを支援していただいた院長先生始めスタッフ、ご協力や賛同頂いた方々にこの場を借りて感謝したいと思います。

次年度以降は、ポータルサイトの内容やリンク先の拡充とともに、折角作ったこのポータルサイトや発達障害外来、デイケアの認知度をあげていくこと、外部との連携拡充、新たなプログラムの試験的運用など構想を練っているところです。なるべく患者さんのニーズや要望に沿ったものを提供できるよう努めていきたい所存です。

2023年6月
スタート！

自分のニガテ、
一緒に考えてみませんか？

ADHD特性を持つ人 のための 専門プログラム

障害特性とうまく付き合うための対応策や
コントロール方法について学びます。



- ・集中力が続かない
- ・失くし物、忘れ物が多い
- ・ケアレスミスが多い
- ・約束や時間を守れない
- ・作業の優先順位がわからない などお困りの方対象

時間： 13：30～15：30

場所： 平川病院 第2デイケア室

期間： 毎週金曜日、全12回、約3ヶ月間
（講義だけでなく、皆さんで話し合う機会もあります。
なお、どの回からでもご参加できます。）

医療法人社団光生会
平川病院 デイケア科
TEL：042-651-3131

「八王子市民のための発達障害支援総合ポータルサイト」

<http://hachioji-hattatsu.jp/>

精神障害にも対応した地域包括ケアシステム

グループホーム美山ヒルズ 世話人 廣井 亮

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

昨年は「みやま」で、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」（以下「にも包括」）について、連載させていただきました。「にも包括」をテーマに、昨年の振り返りと今年の抱負を廣井・石橋でお伝えしたいと思います。

「にも包括」は、精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが安心して自分らしく暮らすことができるよう、様々な支援を確保されたシステムで、八王子市も協議を重ねています。

病院として、「にも包括」にどのような役割がとれるかは、八王子がどのような街づくりをめざすかにもよりますが、平川病院がこれまで培ってきた強みを地域で活用できること、地域の医療面でのニーズにアンテナをはること、分野の異なる関係機関と有益な連携をすること・・・など、ぼんやりながらもイメージしています。病気や障害があってもやりたいことをあきらめず、自分らしい生活ができることを医療の面から支援していきたいと思います。

まずは、八王子の「にも包括」がどのように作られていくのか、風通しよく、院内にも情報共有しながら、より地域目線でできることを模索していきたいと思います。

（石橋）

昨年において八王子市は「にも包括」構築に向けて動き出しました。「みやま」で記事を書かせていただきましたが、実務者連絡会では現在ある制度の課題を整理し、今後の対策を協議してきました。今年はさらにその動きが加速し、新たな制度、施策をもって動き出していくことと思います。

美山ヒルズは長く利用者さんの地域生活を支援してきておりますが、その支援は平川病院地域生活支援科を初めとする多くの他機関（訪問看護や計画相談事業所、作業所など）、その多くの人たちとの“協働”によって行われてきました。今年においては八王子市にもその協働に加わってもらい、協働の輪をさらに大きく広げていきたいと考えています。そしてこれからの美山ヒルズは医療機関からだけではなく、地域の方たちからのニーズに対しても、直接的に関わっていききたいと考えています。八王子市は精神科病院や地域資源が豊富にある地域です。その地域でのモデルとなるような施設を目指していきたいです。

（廣井）

災害時の炊出し訓練を行いました

災害対策委員会 事務部総務課 主任 杉本 貴史

災害対策委員会では「災害時にも温かい食事を」という想いで導入した『移動式煮炊釜』を使って、定期的に災害時調理訓練（炊出し訓練）を行っています。

今回は約200食分の芋煮の提供のほか、炊出し会場に『非常時電源供給システム』を搭載した車両を設置しました。このような車両の存在や、備えの大切さを認識して頂くため、この車両に繋いだコーヒーマーカーで温かいコーヒーも提供しました。

調理の準備中に移動式煮炊釜へのガス供給不具合がありました。今後につながる経験になりました。大きなトラブルもなく訓練を終え、課題や気づきを得ることができました。災害対策には職員一人一人の意識が大変重要です。我々災害対策委員会は、防災意識を広め、より実践的な訓練を積み上げることで、災害対策の充実を図っていきます。



平川病院 災害対策委員会の活動指針

「想定される災害の見える化・共有」
「想定される災害への対策の立案・準備」
「災害対策（防災意識）の普及啓発」



八王子市民のための発達障害支援 総合ポータルサイト

子どもから大人まで八王子市民が発達障害の支援サービス情報を包括的に取得できるサイトができました！

アクセスはこちらから



<http://hachioji-hattatsu.jp/>

編集後記

昨年大河ドラマは、徳川家康でした。ご存じ八王子城は、北条氏照が築いた山城で、この城が落城したのが決め手で、豊臣秀吉が攻めていた小田原城が開城し北条氏は滅亡したとも言われている。この後、徳川家康は江戸に入り、落城した八王子城を復興する代わりに、新しい町を八王子城のあった山間部ではなく、今の八王子市街地に設けた。それ以来、八王子城があった城下を元八王子と呼ぶように……。当院の新年祈禱は毎年、元八王子の八幡神社にお世話になっています。今年も広報誌「みやま」をよろしくお願い致します。

医療法人社団光生会 平川病院

東京都八王子市美山町1076

電話 042-651-3131

FAX 042-651-3133

編集 平川病院 広報委員会

ご意見ご感想はこちらへお願いします

kouhou@hhsp1966.jp

